

(講座) 環境薬科学

(研究室) 衛生化学

(氏名) 中山守雄

(職名) 教授

【研究テーマ】

1. 栄養素としてのセレンウム
2. ヒトの健康に関わる金属元素
3. 金属と医療
4. 環境及び生体微量物質のための機能性材料の開発

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. M. Haratake, M. Ono, M. Nakayama: Penicillamine selenotrisulfide as a selenium source in mice, *J. Health Sci.* **50**, 366-371 (2004).
2. K. Takagi, T. Uehara, E. Kaneko, M. Nakayama, M. Koizumi, K. Endo, Y. Arano: ^{99m}Tc-labeled mannosyl-neoglycoalbumin for sentinel lymph node identification, *Nucl. Med. Biol.*, **31**: 893-900 (2004)

【学会発表】

A 国際学会

(A-b) 一般講演

1. M. Nakayama, M. Haratake, M. Ono : Development of a new ⁶⁸Ge/⁶⁸Ga generator using organic polymer containing *N*-methylglucamine groups. 6th China-Japan Joint Seminar on Radiopharmaceutical Chemistry, September 22~25, 2004(Beijing)

B 国内学会

(B-b) 一般講演

1. 藤本勝好、原武 衛、小野正博、中山守雄：ペニシラミン置換グルタチオンを使ったセレノトリスルフィドの合成、日本薬学会第 124 年会、2004 年 3 月 29~31 日 (大阪)
2. 金子善和、小野正博、原武 衛、中山守雄、Hank F. Kung：新規アミロイドβペプチド結合性放射性薬剤の開発：(E)-3-styrylpyridine 誘導体の合成とその評価、第 124 年会日本薬学会、2004 年 3 月 29~31 日 (大阪)
3. 中山守雄、安本和善、原武 衛、小野正博：天然海水中の極微量金属分析のための多孔性グリシジルメタクリレート-エチレングリコールジメタクリレート高分子基体の設計と合成、第 65 回分析化学討論会、2004 年 5 月 15、16 日 (沖縄)
4. 藤本勝好、原武 衛、小野正博、中山守雄：赤血球内亜セレン酸代謝におけるセレン-ヘモグロビン結合体形成へのセレノトリスルフィドの関与、第 15 回日本微量元素学会、2004 年 7 月 1、2 日 (東京)
5. 藤本勝好、原武 衛、小野正博、中山守雄：ヘモグロビンによる赤血球膜へのセレンの運搬、フォーラム 2004：衛生薬学・環境トキシコロジー、2004 年 10 月 25、26 日 (千

葉)

6. 高橋順子、原武 衛、小野正博、中山守雄：栄養素としての煮干かたくちいわし中セレンの評価、フォーラム 2004：衛生薬学・環境トキシコロジー、2004年10月25、26日（千葉）
7. 小野正博、中山守雄：アルツハイマー病の診断を目的とする老人斑アミロイド画像化薬剤の開発研究、第4回 放射性医薬品・画像診断薬研究会（京都）、2004年11月27日
8. 藤本勝好、原武 衛、小野正博、中山守雄：ヘモグロビンによる赤血球膜へのセレン運搬機構の解明、第21回日本薬学会九州支部大会、2004年12月11、12日（長崎）
9. 高橋順子、原武 衛、小野正博、中山守雄：煮干かたくちいわし中セレンの分析と栄養素としての評価、第21回日本薬学会九州支部大会、2004年12月11、12日（長崎）

【特許】

1. 中山守雄、原武 衛、小野正博、森 啓：アミロイド関連疾患診断用組成物、特願2004-341370号

【研究費取得状況】

1. アミロイド沈着による病的要素のインビボ画像化、科学研究費・基盤研究(B)(1)

【学会役員等】

1. 日本分析化学会九州支部常任幹事

【過去の研究業績総計】

原著論文（欧文）	61編	（邦文）	5編
総説（欧文）	2編	（邦文）	5編
著書（欧文）	10編	（邦文）	3編
紀要（欧文）	0編	（邦文）	3編